

# スライドカンファレンス

## 症例2 口腔

九州歯科大学健康増進学講座  
口腔病態病理学  
矢田 直美

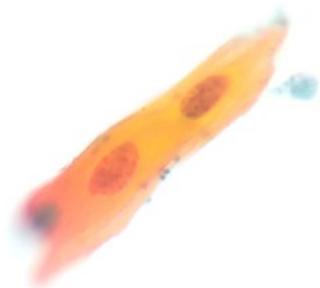
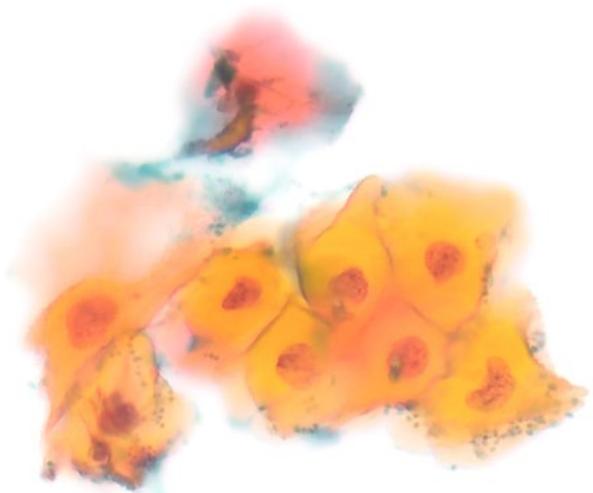
**症 例:**80歳代, 女性。

**検査材料:**舌(歯間ブラシ, 擦過, LBC法 ThinPrep™)

**病 歴:**1か月前より, 左舌縁の潰瘍を自覚し, 改善しないためかかりつけ医で軟膏が処方された。潰瘍が縮小傾向であったが, 完全に治癒しないため当院受診となった。左舌縁部に紅斑が混在した白斑が見られ, その内部に5~10mm大の潰瘍を2つ認め, 擦過細胞診が行われた。



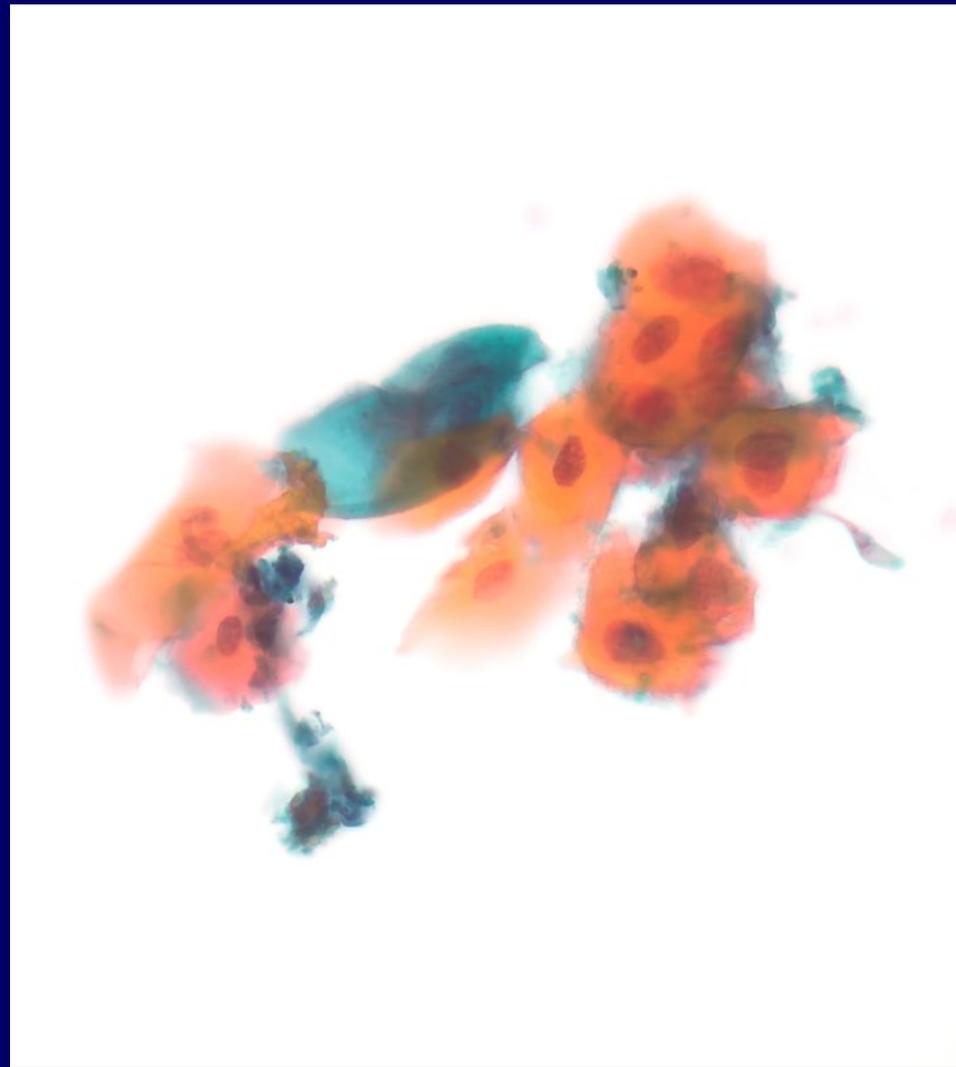
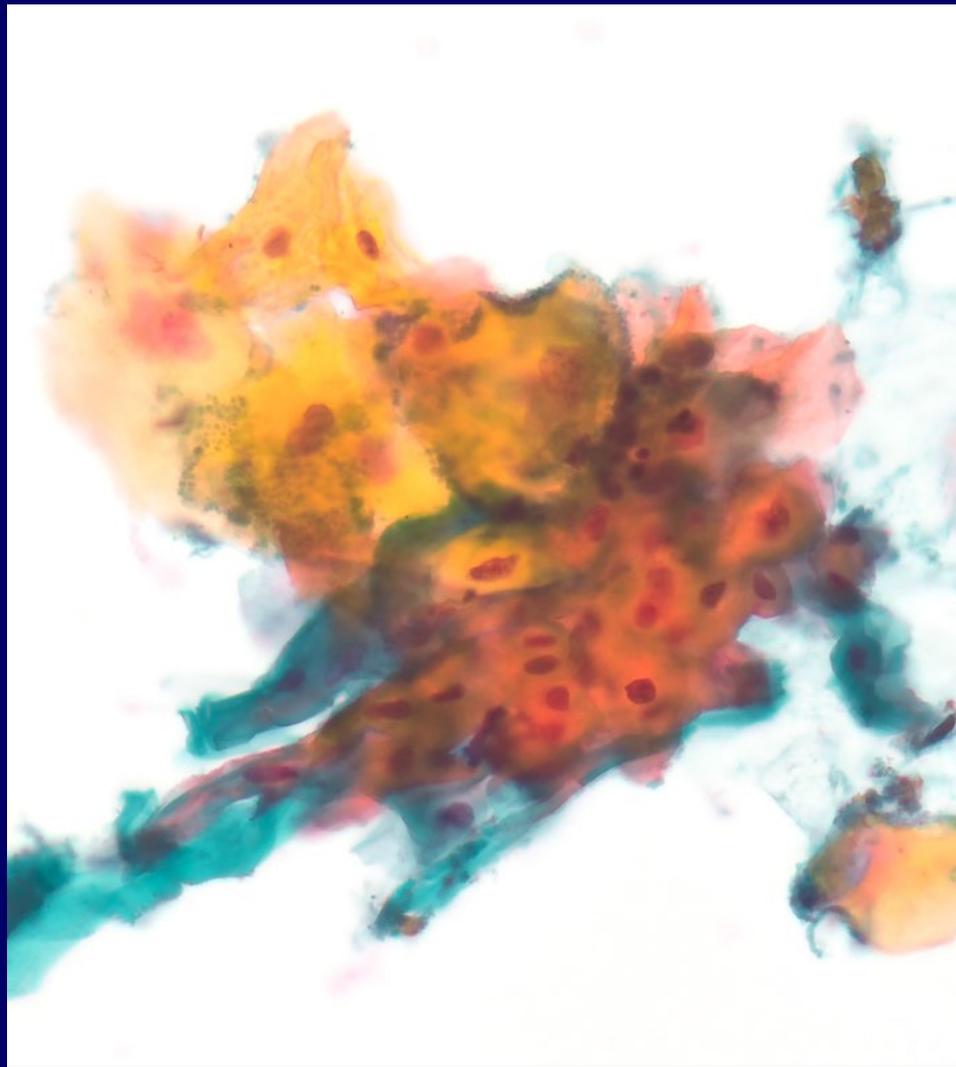
X40-1



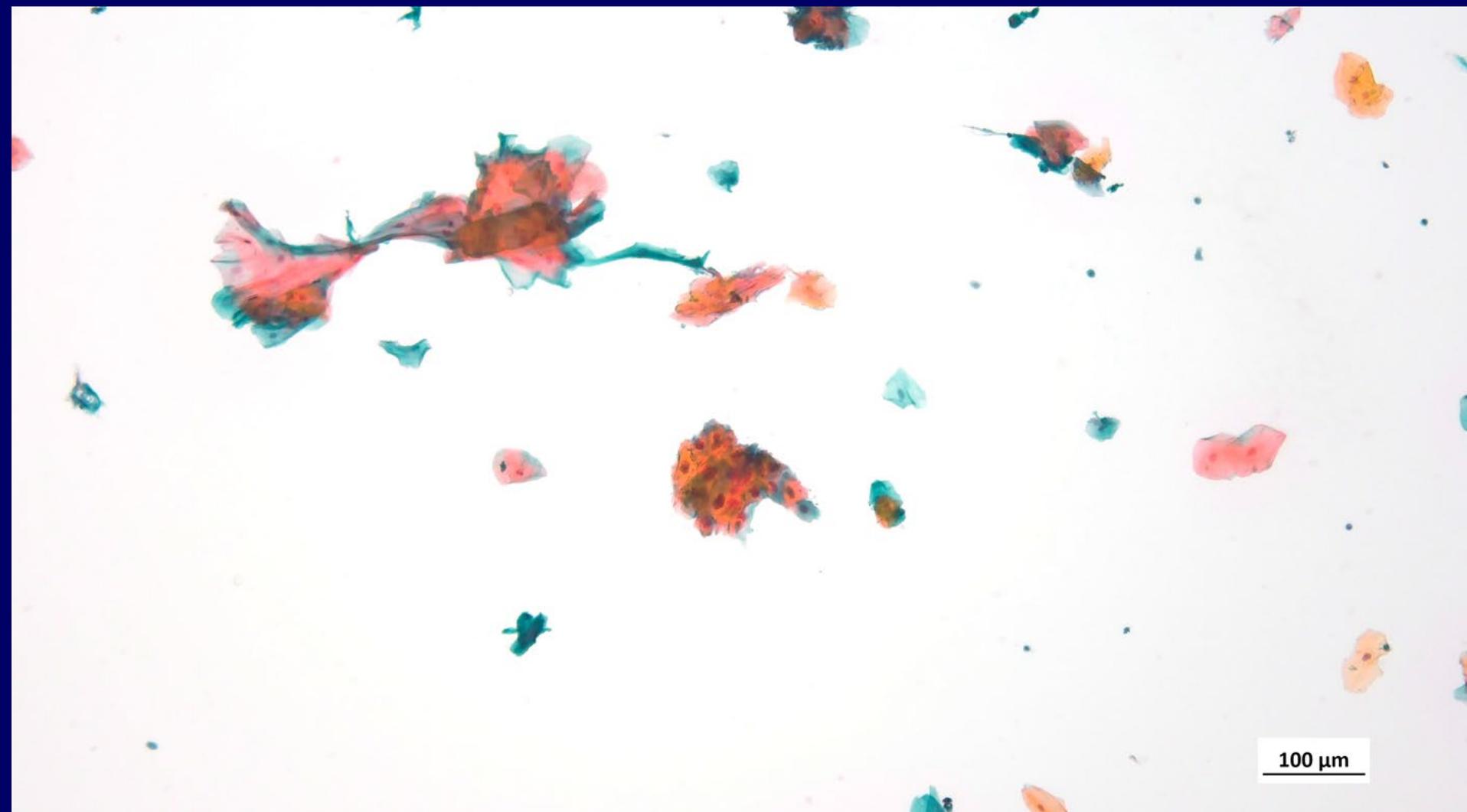
**X400-1**



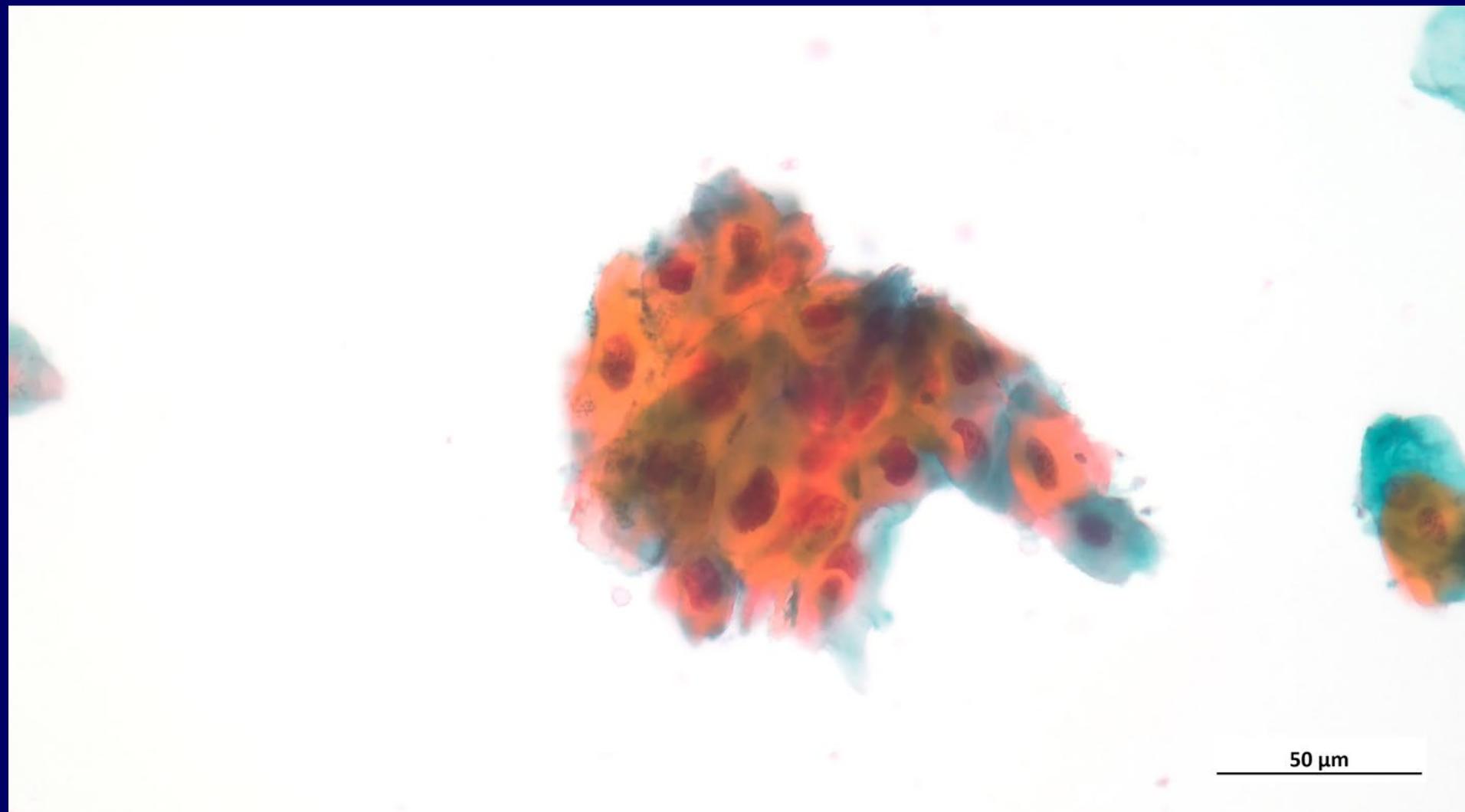
**X40-2**



**X400-2**



**X40-3**



50 μm

**X400-3**

## 選択肢:

1. NILM (扁平上皮過形成)
2. NILM (口腔カンジダ症)
3. OLSIL (低異型度上皮性異形成)
4. OHSIL (高異型度上皮性異形成／上皮内癌)
5. SCC (中分化扁平上皮癌)